

建設関連業5団体「令和8年新年賀詞交歓会」開く
関係者330人が業界の発展と会員企業の飛躍を誓う



新年の飛躍に向けて、和やかに歓談した「令和8年賀詞交歓会」

(一社)建設コンサルタント協会九州支部等建設関連業5団体の「令和8年新年賀詞交歓会」は9日、福岡市のANAクラウンプラザホテル福岡で開催した。主催5団体の会員や来賓として国土交通省九州地方整備局等国の関係機関、福岡県及び関係市、業界団体の関係者ら約330人が出席し、測量・建設コンサル業界の更なる発展と会員企業の繁栄・活躍を誓い合った。

交歓会では、建設関連業5団体の(一社)建設コンサルタント協会九州支部(穂山泰治支部長)、(一社)福岡県測量設計コンサルタント協会(福澤一博会長)、(一社)福岡県地質調査業協会(香月裕宣理事長)、(一社)日本補償コンサルタント協会九州支部(白石陽一支部長)、(公社)全国上下水道コンサルタント協会九州支部(松尾禎泰支部長)の団体長紹介があり、代表挨拶で福岡県測量設計コンサルタント協会の福澤会長(㈱スリーエヌ技術コンサルタント)

は「昨年11月に高市政権が発足し、国土交通省の公共予算として6.3兆円を目指すという事で業界としても非常に明るい話となり、業界としても建設DXを国土交通省や県・市と一緒に進めて効率化を図っていきたいと思います。ま



主催者挨拶の福澤会長

18年 新年賀詞交歓



5団体代表者紹介

は第1次国土強靭化実施中期計画が明示され、2026年から2030年の5年間で概ね20兆円強の大きなプロジェクトとなっております。また、昨年12月に成立した補正予案では2900億円以上の予算がありますので、スムーズな業務執行に向けて取り組みたい。九州管内では安全・安心を確保した上で、経済を更に加速する為にも九州内外ともネットワークを結び、災害に強いインフラ整備を進めたい」と挨拶した。

また、福岡県の生嶋亮介副知事は「近年様々な災害が多発し、激甚化しております。鳥取・千葉では震度5強の地震や昨年8月には、県内で大雨による水害が発生。その際には関係各位の皆様もご尽力頂き感謝致します。また、建設業界を取り巻く環境は厳しい状況で、特に人材確保は大きな課題となっており、建設業界の皆様と連携を取りながら、高校生や女性等の皆様が建設全体に魅力を感じてもらえるようにセミナー開催も進めていきますので、皆様方のご理解とご協力をお願い致します」と挨拶した。

このあと祝電披露に続いて、国土地理院九州地方測量部の小野康部長が乾杯の発声を行い、測量・建設コンサル業界の更なる発展と会員企業の益々の繁栄・活躍を祈念して和やかに歓談した。

た、今年に入り鳥取や千葉で震度5強という大きな地震があり、いつどこで発生してもおかしくない状況の中、国民の安全・安心を守りながら社会経済発展に寄与出来るように我々が一致団結して頑張っていきたい」と新年の抱負を述べた。

来賓は、国交省九州地方整備局、国土地理院九州地方測量部、日本下水道事業団、福岡県、福岡県道路公社、福岡市、北九州市などの幹部職員らが出席。代表挨拶で、九州地方整備局長の垣下禎裕局長は「昨年



来賓挨拶の垣下局長



来賓挨拶の生嶋副知事



乾杯の小野部長